

2021年年次総会開催のご案内

年次総会の日程が決定しましたのでお知らせします。今年はLINEによるビデオ会議で実施しましたが、来年は、例年通りかどやホテルで開催する予定です。コロナウイルスの影響も考慮してZOOMでの同時ライブ配信も予定しております。総会のほかにフォローアップセミナーの講師陣や今年書籍を出版した理事による特別講演も企画しておりますのでぜひご参加ください。総会の案内は2021年1月に往復ハガキで発送する予定です。

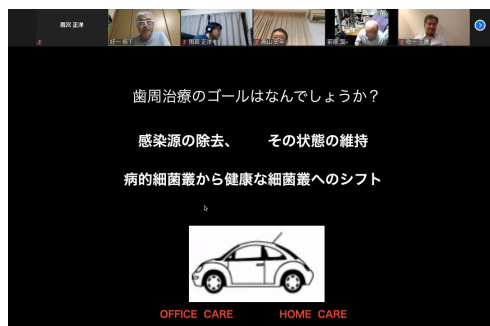
- ・日程:2021年3月13日(土) 18:00~
- ・内容:総会・特別講演
- ・場所:仮)かどやホテル・ZOOMによる同時配信

フォローアップセミナー福岡開催中止と大阪開催のご報告

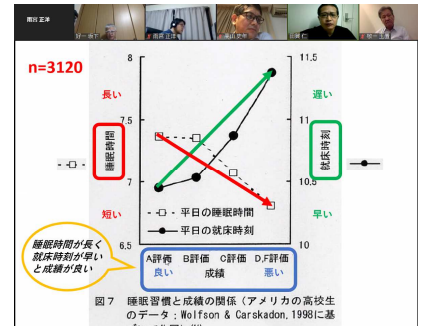
11月28日(土)に予定しておりましたフォローアップセミナー福岡開催はコロナウイルスの影響により中止となりました。2021年3月13日の年次総会時に特別講演を予定しておりますのでそちらにご参加ください。8月29日でのフォローアップセミナーでは前原先生によるテンプレート治療のフォローアップだけでなく坂下理事、田賀理事から自身の研究分野からの講演も行われました。講演後も講演内容についてグループLINEで活発な意見交換がなされました。グループLINEに参加されていない会員は同封の案内に記載しているQRコードからご参加ください。また、講演開始前や休み時間に会員間での近況報告や意見交換も活発に行われていました。これからも全国の先生が参加しやすいようにオンラインでのイベントを積極的に取り入れていく予定です。前原先生の講演については資料の配布、動画による視聴を企画しております。



『テンプレート治療フォローアップ』
理事長 前原潔先生



『歯周ポケットへの酸素洗浄から・・・』
理事 坂下好一先生



『歯科医師が守る！日本の「睡眠」』
理事 田賀仁先生

理事通信 「症例から読み解く咬合の5大因子・10の要点 咬合医学の臨床入門」

理事 武内久幸

武内先生の最新刊！！

私が卒後間もない頃、咬合を悪くする患者体験で得た経験を礎にその後積み上げた臨床と理論を1冊に簡潔にまとめた。

私の体験により咬合がいかに私の身体にとって大切で全身の健康に多大な影響力を持っているかという事を理解した。それで、その後の臨床上の歯の予防、治療、メンテに対する考え方が大きく変わった。私の咬合治療で考慮している5大因子は①垂直的咬合高径②水平的咬合位③ガイド(前後左右)④咬合平面⑤力(外力、内力)である。その中の垂直的咬合高径や水平的咬合位などに関わる中心的理論の1つがテンプレート理論である。この理論は前原潔先生から手ほどきをしていただいた。解剖学、生理学と力学を中心とした考え方である。また、多くのKrを診ていくうちに他の要素も多く関与していることが分かった。それが5大因子と咬合の10大要点である。咬合の10大要点とは①早期接触②咬合干渉、咬頭干渉③咬合支持④はまり込み⑤顎関節への負担、耳への影響⑥偏咀嚼、顔面の非対称⑦筋拘縮⑧姿勢の歪み⑨非歯原性歯痛⑩ストレスである。この5大因子と10大要点が33年間の私の咬合臨床の基盤である。

